



2020年3月13日

各 位

会社名 株式会社共和コーポレーション
代表者名 代表取締役社長 宮本 和彦
(コード番号 6570 東証第二部)
問合せ先 取締役経営企画室長 澤田 亮
(TEL. 026-227-7712)

(訂正)「2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、2018年8月10日に開示いたしました「2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2020年3月13日)付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には____を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月10日

上場会社名 株式会社共和コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6570 URL <http://www.kyowa-corp.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮本 和彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)澤田 亮 (TEL) (026) 227-1301
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	2,857	—	23	—	△14	—	△28	—
2018年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △27 百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 — 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	<u>△9.68</u>	—
2018年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は2018年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	9,602	3,080	32.1
2018年3月期	10,838	3,207	29.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 3,080 百万円 2018年3月期 3,207 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 2018年8月10日開催の取締役会において、2018年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割することを決議いたしました。2019年3月期(予想)の1株当たりの年間配当金は、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2019年3月期(予想)の1株当たりの年間配当金は34円となります。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,524	—	297	—	321	—	197	—	33.89
通期	13,486	4.1	548	4.1	599	33.1	369	48.5	63.44

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 2019年3月期(予想)の1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記した株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2019年3月期第2四半期(予想)の1株当たり当期純利益は67.78円、2019年3月期通期(予想)の1株当たり当期純利益は126.87円となります。
3. 当社は2018年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	3,013,500株	2018年3月期	3,013,500株
2019年3月期1Q	100,000株	2018年3月期	100,000株
2019年3月期1Q	2,913,500株	2018年3月期1Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は2018年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当社は、2018年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定です。そのため、2019年3月期(予想)の1株当たり配当金及び2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を顧慮した金額を記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得環境の改善が続く中で、緩やかな景気の回復が見られました。海外においては、貿易摩擦問題が景気の下押しリスクとなったものの、緩やかな回復傾向は見られました。

このような状況の中、当社グループの主力事業であるアミューズメント施設運営事業におきましては、「明るい、安心、三世代」をテーマとして、お客様に対する接客サービスの体制強化に努めるとともに、当社東証第二部上場記念イベント等の実施によるファミリーユーザーの集客策を推進いたしました。アミューズメント機器販売事業におきましては、販売顧客先に向けた運営コンサルティングなどトータルセールスを行うことにより、引き続き新製品および中古機の販売が好調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高2,857,719千円、営業利益23,907千円、経常損失14,500千円、親会社株主に帰属する四半期純損失28,188千円となりました。今後、当社グループは、これまでの取り組みを進化させると同時に、グループ一体での運営強化と、事業間のシナジー効果を発揮すべく業務プロセスや収益管理の改善に継続的に取り組むことにより、更なる業績の向上と事業の成長を目指してまいります。

(注)当社は第32期第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、当第1四半期連結累計期間に係る業績等の前年同四半期との対比については記載しておりません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① アミューズメント施設運営事業

アミューズメント施設運営事業におきましては、当社東証第二部上場記念イベントとしてお菓子メーカーとのコラボによる当社限定オリジナル景品を導入するなど来店促進策を全店舗にて行うとともに、様々な活性化策により来店客数の増加に努めました。景品ゲームにおいては、もう1プレイを促進するため接客サービスを強化したほか、LINEを利用した来店促進策を推し進めたこと等により、景品ゲームにおいて前年同期に比べ稼働が向上しました。メダルゲーム機においては、中期的な施策として営業教育を充実させたことにより今後の成長のための基盤強化に取り組んでまいりました。なお、2018年6月に「ゲームスクエア三芳」を開業しており、総施設数は49施設となっております。

以上の結果、アミューズメント施設運営事業における売上高は2,273,663千円、セグメント利益(営業利益)は205,490千円となりました。

② アミューズメント機器販売事業

アミューズメント機器販売事業におきましては、引き続き得意先への継続的な販売を行うとともに、新規取引先の獲得を積極的に進めてまいりました。また、新規アミューズメント機器の販売に加え、中古アミューズメント機器やアミューズメント景品の販売にも注力して販売力の強化を推進したこと等により、当初計画に対して新製品及び中古機器の販売増加が見られました。

以上の結果、アミューズメント機器販売事業における売上高は552,399千円、セグメント利益(営業利益)は14,285千円となりました。

③ その他事業

その他事業におきましては、各種媒体を利用した広告代理店業等であり、既存の広告媒体が伸び悩みを見せる中、課題解決提案による既存取引先との関係強化を図るとともに、新規取引先の開拓を積極的に推進しました。

以上の結果、その他事業における売上高は31,656千円、セグメント利益(営業利益)は2,384千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,235,316千円減少の9,602,812千円となりました。主たる減少要因は、現金及び預金が919,518千円、アミューズメント機器が238,480千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,108,511千円減少の6,521,959千円となりました。主たる減少要因は、支払手形及び買掛金が232,655千円、未払金が229,864千円、長期借入金が309,295千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ126,804千円減少の3,080,852千円となりました。主たる減少要因は、期末配当により99,059千円減少したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,707,016	2,787,498
受取手形及び売掛金	716,545	591,231
商品	31,346	30,757
貯蔵品	146,890	160,579
未収入金	20,474	26,721
その他	249,480	270,850
貸倒引当金	△157	—
流動資産合計	4,871,597	3,867,638
固定資産		
有形固定資産		
アミューズメント機器(純額)	1,592,942	1,354,462
建物及び構築物(純額)	1,380,024	1,361,171
工具、器具及び備品(純額)	154,376	155,334
土地	814,332	814,332
建設仮勘定	5,508	5,508
その他(純額)	42,727	47,160
有形固定資産合計	3,989,912	3,737,969
無形固定資産		
その他	41,557	50,534
無形固定資産合計	41,557	50,534
投資その他の資産		
投資有価証券	171,255	171,892
繰延税金資産	130,465	141,624
敷金及び保証金	1,123,664	1,118,526
その他	630,402	673,397
貸倒引当金	△120,726	△158,770
投資その他の資産合計	1,935,061	1,946,670
固定資産合計	5,966,530	5,735,174
資産合計	10,838,128	9,602,812

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,046,755	814,099
1年内返済予定の長期借入金	1,424,100	1,341,000
未払金	686,336	456,472
未払法人税等	172,617	19,567
未払消費税等	59,762	65,086
賞与引当金	60,600	95,100
1年内償還予定の社債	400,000	400,000
設備関係支払手形	219,423	61,655
その他	57,612	63,970
流動負債合計	4,127,207	3,316,952
固定負債		
長期借入金	3,251,366	2,942,071
資産除去債務	230,961	232,025
その他	20,936	30,910
固定負債合計	3,503,263	3,205,007
負債合計	7,630,471	6,521,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,887	693,887
資本剰余金	482,687	482,687
利益剰余金	2,005,724	1,878,477
自己株式	△41,400	△41,400
株主資本合計	3,140,900	3,013,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,756	67,199
その他の包括利益累計額合計	66,756	67,199
純資産合計	3,207,657	3,080,852
負債純資産合計	10,838,128	9,602,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	2,857,719
売上原価	1,531,125
売上総利益	1,326,593
販売費及び一般管理費	1,302,685
営業利益	23,907
営業外収益	
受取利息	588
受取配当金	1,365
自販機設置協賛金	1,851
太陽光売電収入	2,225
その他	2,810
営業外収益合計	8,841
営業外費用	
支払利息	8,659
貸倒引当金繰入額	38,165
その他	425
営業外費用合計	47,250
経常損失(△)	△14,500
特別損失	
固定資産売却損	11,991
その他	0
特別損失合計	11,991
税金等調整前四半期純損失(△)	△26,491
法人税、住民税及び事業税	13,050
法人税等調整額	△11,353
法人税等合計	1,697
四半期純損失(△)	△28,188
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,188

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純損失(△)	<u>△28,188</u>
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	442
その他の包括利益合計	442
四半期包括利益	<u>△27,745</u>
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△27,745</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注3)
	アミューズメ ント施設運営	アミューズメ ント機器販売	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,273,663	552,399	2,826,063	31,656	—	2,857,719
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,273,663	552,399	2,826,063	31,656	—	2,857,719
セグメント利益	205,490	14,285	219,775	2,384	△198,252	23,907

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2018年8月10日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更について下記のとおり決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の流動性向上と投資家層拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2018年8月31日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載された株主に対し、その所有株式を、1株につき2株の割合をもって分割します。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式数	3,013,500 株
今回の分割により増加する株式数	3,013,500 株
株式分割後の発行済株式総数	6,027,000 株
株式分割後の発行可能株式総数	16,000,000 株

(3) 分割の日程

基準日公告日	2018年8月16日 (木曜日)
基準日	2018年8月31日 (金曜日)
効力発生日	2018年9月1日 (土曜日)

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式の分割が、当連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、次のとおりであります。

項目	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額 (△)	△4.84円
潜在株式調整後1株あたり 四半期純利益金額	一円

3. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2018年9月1日をもって当社定款第6条に定める発行可能株式総数を変更いたします。

(2) 定款変更の内容

変更内容は以下のとおりであります。

(下線は変更箇所を示しております。)

現行	変更後
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>800万株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>1,600万株</u> とする。

(3) 定款変更の日程

効力発生日 2018年9月1日 (土曜日)

4. その他

(1) 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

(2) 新株予約権行使価格の調整

今回の株式分割に伴い、2018年9月1日以降の新株予約権の1株当たりの行使価格を以下のとおり調整いたします。

	調整前権利行使価格	調整後権利行使価格
第4回新株予約権	483円	242円